

《防犯パトロール隊の活動》

県警では平成15年を治安回復元年と位置づけ、犯罪抑止総合対策を推進した結果、平成19年まで5年連続して刑法犯認知件数を減少させることができました。

この要因の一つとして、地域住民の方々による自主防犯パトロール活動があげられると考えています。

皆さんも、安全で安心な地域社会の実現のため、自主防犯活動に参加して防犯の輪を広げましょう。

○防犯パトロールとは

活動を見せることや監視の目を増やすことで犯罪企図者に犯行を思い止まらせます。地域における防犯上の改善箇所を点検することで犯罪に遭

伝統のイチゴ摘み取りで今年も寄付活動を！

～成東中学校～



左から成東中学校の實川さん、小川校長先生、社会福祉協議会の鈴木会長

成東中学校の「イチゴ摘み」は生徒会が行う伝統行事で、今年22年目を迎えます。4月30日、生徒会会長の實川さんが、社会福祉協議会に寄付金を届けました。

この行事は成東観光母組合の協力を得て、生徒の手で直接摘み取った旬のイチゴを体育館で販売。その収益金の一部5万円が寄付されたものです。



5月17日「日向こども見守り隊」発足の会が、日向小学校で行われました。

にくい環境を作ります。

防犯パトロール隊の活動には、

* 徒歩や自動車でのパトロール
* 犬の散歩や買い物兼ねたパトロール

* 通学路の子どもの見守り隊など、地域ごと、パトロール隊ごとに様々な活動形態があります。

また、これらの活動には、地

域コミュニティの再生という効果もあります。

○継続するために

気負わず、気楽に、気長に続けましょう。また犯人を捕まえるなど、危険なことをする必要はありません。

これらの活動を成功させるポイントは無理をせず、できることからです。

○活動事例について

防犯パトロール隊の活動方法など詳細は、千葉県警察ホームページ「犯罪抑止推進室」の「千葉県のパトロール隊」をご覧ください。

アドレス
http://www.police.pref.chiba.jp/safe_life/public_space/chiba_patrol

県トラック協会からセーフティハンド(交通安全手形)の寄贈



トラック協会会長 水野謙一氏(左)と金田教育長

4月8日、交通安全用具として「セーフティハンド」が寄贈されました。これは、社団法人千葉県トラック協会から子ども達の無事故を願って、昨年に引き続き市内小学校の新1年生全員に贈られたものです。黄色の手形には「とまって」の文字が大きく書かれており、子どもたちのランドセルにつけて交通安全を呼びかけます。

訂正とお詫び

広報5月号の23頁、職員人事異動の記事に誤りがありました。正しくは、水道課長 浦上康信(水道課主幹)です。訂正してお詫びいたします。

6月は「動物の正しい飼い方推進月間」
動物は、適切に飼いましょう

■ 動物を飼う環境であるかどうか、家族でよく考えましょう。

■ 動物に起因する感染症の予防のために注意を払いましょう。また、動物にさわつ

たら必ず手を洗いましょう。

■ 犬の首輪には、登録鑑札と狂犬病予防注射済票をつけ

ましょう。

■ 犬の放し飼いは禁止です。運動させる場合は、犬を制

止できる人が行いましょう。

■ ねこは屋内で飼いましょう。他人への迷惑を防止でき、

病気や交通事故等の危険からねこを守るができます。

■ 公の場所や人の敷地内で排泄させるような迷惑行為はやめましょう。

■ 不妊去勢措置をしましょう。責任を持って最後まで面倒をみましょう。飼えなくなつた場合は、飼い主を探るか、動物愛護センター等へ相談

してください。引取りには、生後91日以上犬・ねこ1頭につき、2,000円、生後91日未満は1頭につき400円の手数料が必要です。

■ 動物を捨てた場合には、50万円以下の罰金が科せられることがあります。

問合せ
健康福祉センター(保健所)
☎(54)0611

千葉県動物愛護センター
☎0476(93)5711

(財)千葉県動物保護管理協会
☎043(2)147814